

いーぶんネットワーク

市内で活躍する女性団体を紹介します。
第2回は「おはなし広場 たんぽぽ」です。

おはなし広場たんぽぽは、絵本の読み聞かせを通じて豊かな人間性を培うことを目的として、平成元年に活動を開始した団体です。現在は主に11名のボランティアの方々が活動しています。主な活動内容は、図書館・保育園・小学校や子育てサークル・市民病院プレールーム・グループホーム等での絵本の読み聞かせで、週3回程度活動しています。

読み聞かせをする際に一番気をつけていることは、作者が本に込めた思いをそのまま伝えることです。そのために、話し方については皆でチェックをします。読み手の過度な感情移入やアクセントなどをお互いにチェックし、切磋琢磨しています。

また、読む本に関しても、十分な時間をとって話し合います。子どもたちの年齢によっても細かく本を選びます。ときには意見が対立することもあります。皆で意見を出し合っていることが、活動が長く続いている秘訣です。そして何よりも、読み手である私たちが本を楽しむことが、聞き手に感動を伝えることに繋がります。最初は本に興味を示さなかった子どもが、母親に連れられて何度か図書館に通ううちにきちんと話を聞けるようになったときは、大変喜びを感じました。

いまのところ会員は女性のみですが、男性の入会希望も大歓迎です！絵本によっては、男性の声で読んだ方がより感動する本もあります。また、家庭で読み聞かせするときも、男性にも積極的に参加してほしいと思っています。「この本は父親に読んでもらった本だ。」という感動は、大人になっても忘れがたいものです。

一宮市にまつわるおはなしを作り、一宮市を故郷とする子どもたちに語りついでいきたい。そして、私たちの活動を若い世代に受けついでもらえたらと思っています。



活動に興味をお持ちの方は、下記にお問い合わせください。
0586-25-1350 (子ども文化広場図書館 朝日1-6-9)

男女共同参画推進セミナーのご案内 (第4回)

「平成24年度 男女共同参画推進セミナー」(第4回)を開催します。誰もが自分らしく輝くために、必要なことは何かを一緒に考えてみませんか。

日時：平成24年11月17日(土曜日) 午後2時～4時(開場：午後1時30分)

会場：尾西庁舎東館6階 尾西生涯学習センター大ホール

講師：石田ユミさん(臨床心理士・認定フェミニストカウンセラー)

テーマ：ドメスティック・バイオレンス ～親密な関係の暴力～

- ・定員は40名程度(市内在住・在勤の方限定)。11月9日(金)までに事前申込みが必要です。
- ・1歳半～就学前児童の託児あり。必要な方は、申込み時にお知らせください。
- ・お問い合わせ、お申込みは企画政策課まで。(連絡先は下記をご参照ください)

公園通法律事務所 弁護士法人
愛知県弁護士会所属

弁護士 瀧 康暢 弁護士 鈴木 含美
弁護士 武川 真弓 弁護士 丹羽加奈絵

http://www.park-lo.com
法律相談は要電話予約
相談料1回5,250円

この「いーぶん」ご持参の方
初回相談無料

一宮市公園通3-30-6
(一宮裁判所交差点すぐ)

TEL 0586-26-6266

離婚・DV・養育費・相続・交通事故

編集協力者/岡西 美子、横井 秀子、吉田 和江、
伊藤 孝司、岩田 宏美
編集・イラスト協力者/後藤 明美
編集・発行/一宮市企画部企画政策課
〒491-8501 一宮市本町2-5-6
TEL 0586-28-8952
FAX 0586-73-9128
eメールアドレス kikakuseisaku@city.ichinomiya.lg.jp
ホームページアドレス http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/
*企画政策課のホームページでは、「いーぶん」のバックナンバーがご覧いただけます。
*「いーぶん」は一宮庁舎などで配布しています。
配布場所については、企画政策課までお問い合わせください。

【「いーぶん」に対する、ご意見等をお寄せください。】

*広告の内容に関する問い合わせは、直接広告主にお問い合わせください。

【「いーぶん」は再生紙を使用しています。

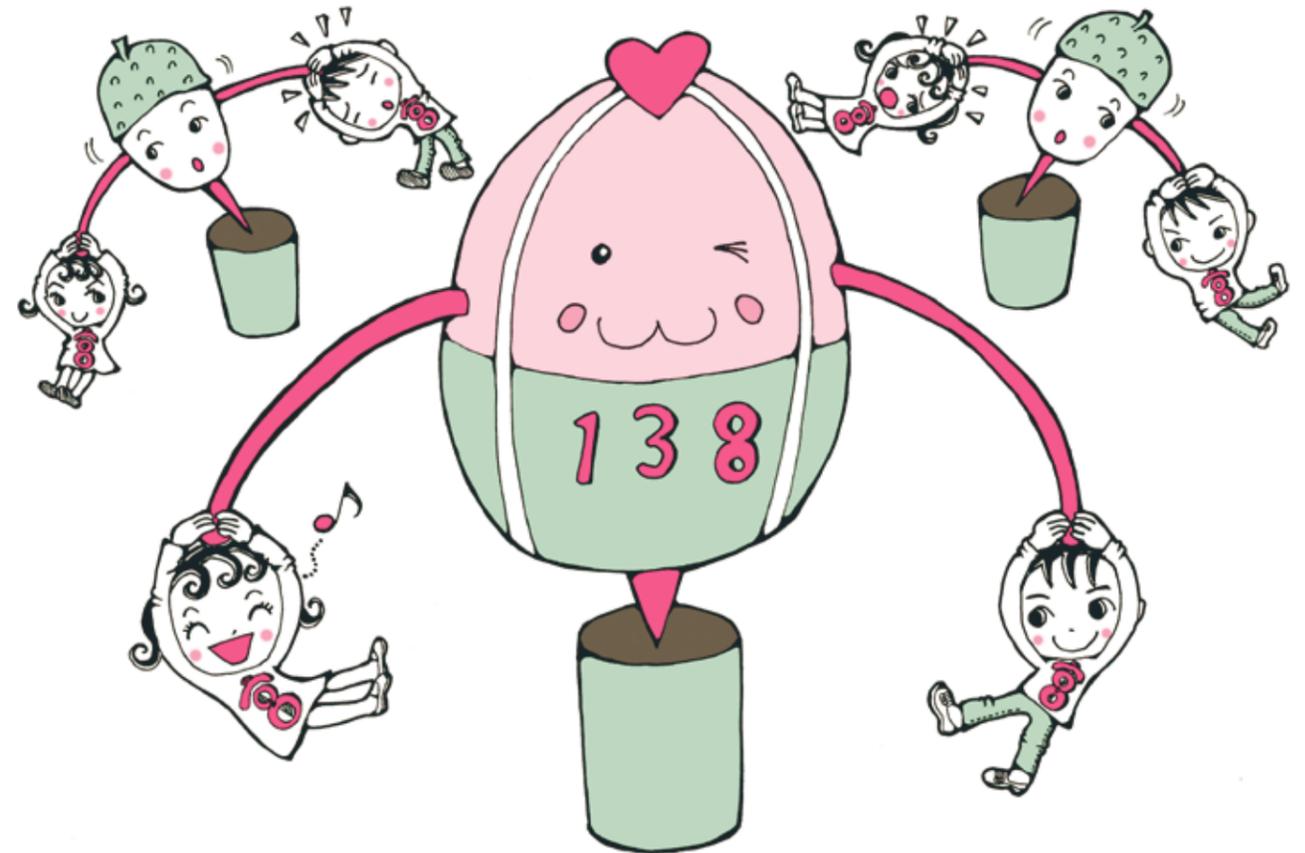
いーぶん

第26号

平成24(2012)年11月

● 素敵なパートナーになるために ●

特集 ワーク・ライフ・バランスについての国際比較



世界にはさまざまな国々があり、さまざまな文化があります。国や文化が違えば、男女共同参画についての考え方も違うのでしょうか？ 今回の特集は「ワーク・ライフ・バランスについての国際比較」と題し、ワーク・ライフ・バランスに関する3項目のデータを国際比較します。そこからわかる日本の現状とは？

応援してます。東北!



ワーク・ライフ・バランスとは…

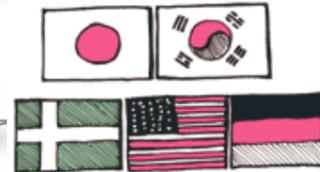
女性も男性も、仕事と自分の時間のバランスを上手に使って、仕事も自分の時間も充実させることを言います。

仕事と家庭のバランス？
どうしたら上手くバランスがとれるのかしら？



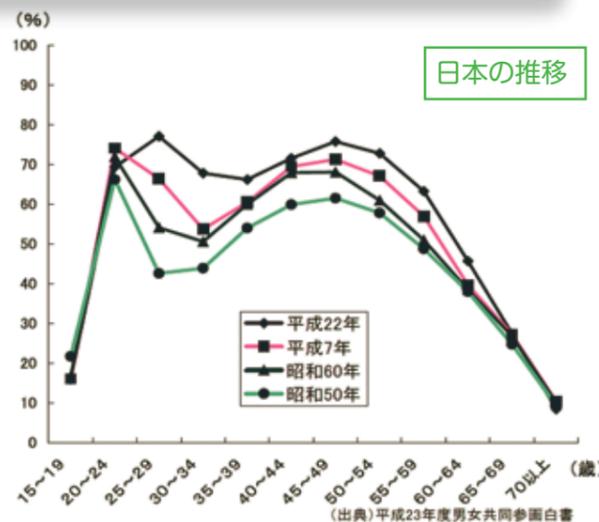
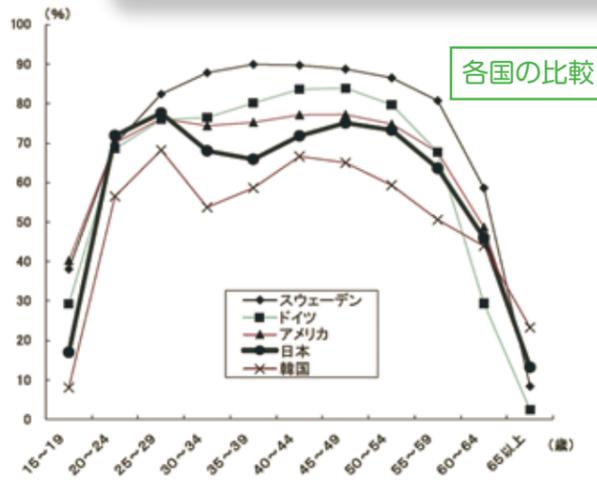
そうだね。例えば、男女共同参画先進国と言われているスウェーデンやアメリカを参考にしてみてもいいだろう。

では、具体的にデータを比較して、今わたしたちにできることを考えてみよう！



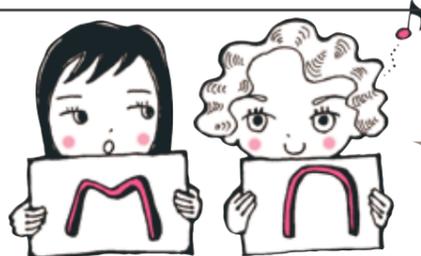
仕事

女性の年齢階級別労働力率



日本や韓国では、女性の労働力率が30歳代を底として「M字型カーブ」を描いています。これは、女性が仕事を辞めて出産・育児に専念し、子育てが一段落したところで再就職するといったライフスタイルの表れです。反対に、欧米諸国のような「逆U字型」は、子育て環境の充実や働き方の柔軟性を表しています。

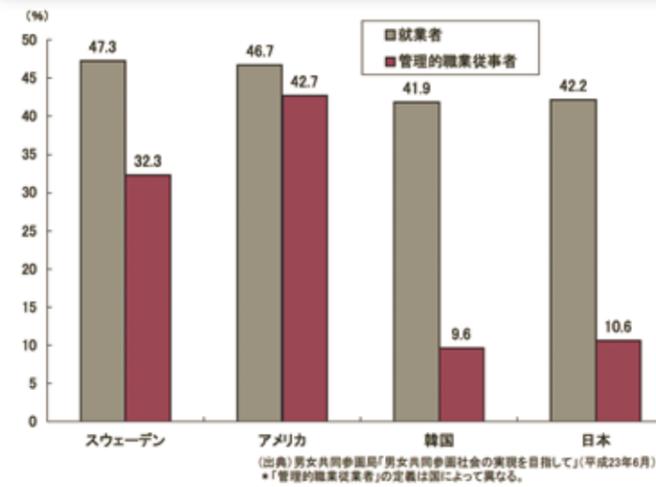
日本ではいわゆる「M字の底」が年々上昇しています。一見、子育て中の女性の就業率が上昇しているように見えますが、実は晩婚化による子育て年齢の上昇や、少子化による子育て時間の減少に起因するところが大きく、子育て環境が充実してきたとは言えない部分があります。



ライフスタイルの多様化によって「M字型カーブ」も変わっていくのですね。

仕事

就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合



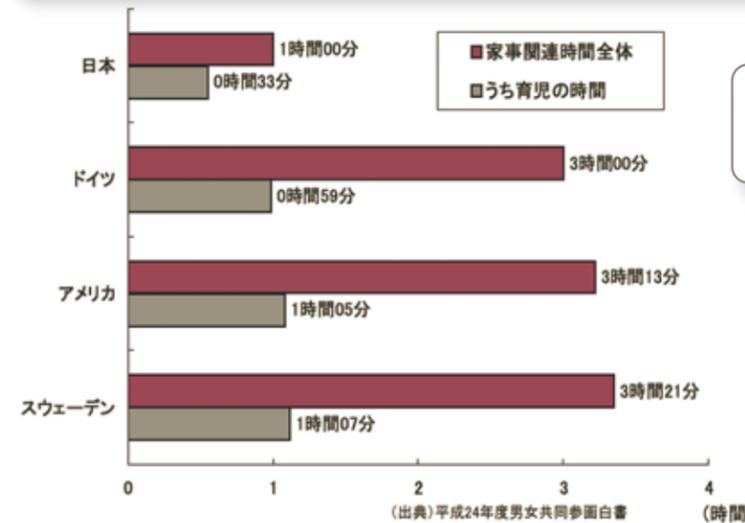
日本や韓国では、管理職のほとんどを男性が占めているんだよ。



女性の就業率の側面から見ると、どの国もさほど差がありません。しかし、日本や韓国の管理的職業従事者における女性の割合は、スウェーデン・アメリカと比較すると極端に低い水準です。日本の女性管理職が少ない理由は様々ですが、「出産・育児に伴う休職や退職によって、勤続年数が男性に比べて短い」ことも一因となっています。育児中の所得保障などの制度が充実しているスウェーデンでは、出産時に退職する女性が少なくなっています。また、アメリカは性別・国籍にとらわれず、有能と認められれば、積極的に就業経験等をサポートする企業が多く、結果的に女性の管理職登用率が上がっています。

家庭

6歳未満児のいる夫の家事・育児関連時間（1日あたり）



日本ではまだまだ女性が家事・育児の大半を担っています。



日本の男性が家事全般に費やす時間は、ドイツ・アメリカ・スウェーデンと比較すると約3分の1程度です。また、育児に費やす時間も約2分の1程度と、他国と比較すると少ない水準です。この結果の要因としては、家事・育児に対する考え方の違いが挙げられます。例えばスウェーデンでは、家事は「女性の仕事」ではなく「家族みんなの仕事」との考え方が当たり前になっていて、家族全員で家事を分担している家庭が多く見られます。

今回のデータから、日本は欧米諸国と比較すると、まだまだ性別による役割分担意識がはっきりしていることがわかりました。男性も女性も自分らしくイキイキと輝くために、まずは家庭内の役割に対する意識改革からはじめてみませんか？